

中央図書館

あたらしいほん 10月

<児童書>



いのちをつなぐ老犬ホーム (645 タ)

高橋 うらら 著 岩崎書店

老犬ホーム・ペットホテルの「ゆるやか」は、年をとった犬たちが、くらしで介護を受けられる施設。看板犬うーちゃんは 18 歳! 介護や看取りを通して、犬たちの幸せな老後を考える。

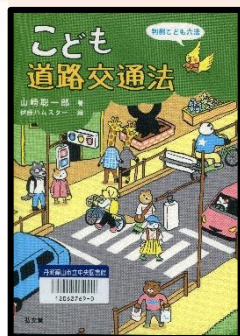
<ヤングアダルト>



きみがきみであるために (YA 159 ヨ)

養老 孟司 著 光文社

学校、勉強、人間関係、家族、生きること…。養老孟司が、さまざまな「壁」を感じている子どもたちの問いに答える。不自由だらけの世の中を自分基準で生きる 55 のヒント。



こども道路交通法 (685 ヤ)

山崎 聡一郎 著 弘文堂

道路交通法は、最も身近で具体的な法律であり、生活の安全を守ってくれる重要な法律。すべての人に知っておいてほしい条文の内容を説明し、実際に起きた交通事故が裁判でどのように判断されたのかを 9 つの例をあげて解説する。



龍ノ国幻想 9 (YA BF ミカ)

三川 みり 著 新潮社

日織と悠火の証が生まれ、悠月と名付けられた。親子で平穏なときを過ごすも、蹂躪される龍ノ原を取り戻さねばならない。盟友・伴有間から、戦には石と弓矢を用意せよとの書札が届く。悠火は、逆封洲に頼ることを決めて…。

としょかんには、ほかにもたくさん本がはいっています。あたらしいほんのいちらんはここからみられます。

丹波篠山市立図書館新着資料一覧

<https://www.ik.licsre-saas.jp/tambasasayama/webopac/searchgenre.do?type=1&histnum=1&menukbn=1>



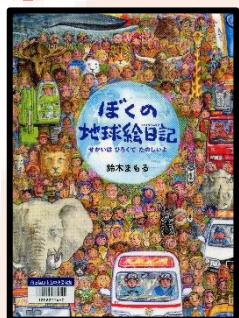
中央図書館

あたらしいほん 10月

<えほん>

ぼくの地球絵日記 (E ス)

鈴木 まもる 作 アリス館

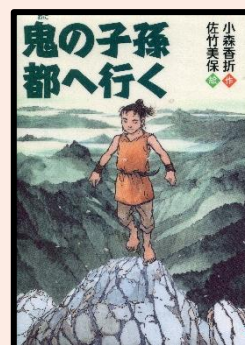


ぼくは山のなかで、絵を描いて暮らしています。下の村には、お米や野菜をつくる人がいます。山から村へ、もっと大きな町へ、そして世界へ。ぼくの地球絵日記は、どんどん広がっていきます。世界をいきいきと描く絵本。

<よみもの>

鬼の子孫都へ行く(913 コ)

小森 香折 作 文研出版



平安時代、大和の国・吉野山中には鬼の子孫たちが住み、伝説の呪術者・役行者をうやまい暮らしていた。鬼の子孫の少年タカは村長とともに、災難つづきの都へむかう。タカは陰陽師や仲間たちと都を鎮めようとするが…。

ようかいのずかん (E キ)

吉川 ケイタ 絵 Gakken



親友のある一言が原因で教室に入れなくなった中 1 のあざみ。担任の勧めで別室登校を始めると、そこには先客、ヤナギさんがいた。いつも画集を見ている彼女は「絵の見方を知ったら、世界の色が変わって見えなです」と言い…。

うちのクラスに魔法使い (913 ヨ)

吉野 万理子作 静山社



6 年 2 組の転校生は卓球の日本代表選手。みんなと同じ 1 日をすごしているのに、卓球の猛練習もして、宿題もして、ちゃんと寝て、食べている。ところが絶体絶命のトラブルが発生して…。クラスメイトたちの 15 の話を収録。

としょかんには、ほかにもたくさん本がはいっています。あたらしいほんのいちらんはここからみられます。

丹波篠山市立図書館新着資料一覧

<https://www.ik.licsre-saas.jp/tambasasayama/webopac/searchgenre.do?type=1&histnum=1&menukbn=1>

